

2012年7月27日

## 群馬大学産官学連携 講演会

### 論語 学而第一

学びて時に之を習う、また説ばしからずや。  
朋有り、遠方より来る、また楽しからずや。  
人知らずして愠みず、また君子ならずや。

学んだことをくりかえし習って体得することは嬉しいことではないか。  
志を共にする朋友が遠くからやってきて語り合うのは楽しいことではないか。  
自分の学識を他人が知らなくても不満を抱かない人は立派な人ではないか。



### 第1部：

題目： 「公害紛争から見る環境問題」

講師： 田口和也氏 （総務省 公害等調整委員会）

日時： 2012年07月27日（金） 15:00～17:00

場所： 群馬大学（桐生キャンパス）共同研究イノベーションセンター3F 研修室

概要：

公害に関しまして下記の内容を分かりやすくお話いたします。

1. 公害紛争とその変化（産業型から都市型・生活型へ）
2. 紛争解決の方法（特にADR機能について）
3. 最近の公害紛争の傾向・特徴  
（騒音・低周波音の問題、廃棄物処理を巡る紛争）

ADR： Alternative Dispute Resolution 裁判外紛争解決手続



## 1 公害紛争とその変化（産業型から都市型・生活型へ）

### (1) 公害問題の経緯

- ・ 戦前 足尾銅山の鉍毒事件（→田中正造の直訴／渡良瀬遊水地）
- ・ 昭和 30 年代後半(1960 年代)の高度成長期（産業構造の重化学工業化）に顕在化、深刻化
  - 四大公害病（水俣病、新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市大気汚染）
- 公害病訴訟
- 公害対策基本法（昭和 42 年）、個別の規制法、被害の救済措置
- 昭和 45 年 公害国会（公害関係の多くの法律が成立）
- ・ 公害から環境へ（公害対策基本法 → 平成 5 年 環境基本法）

### (2) 公害紛争処理制度

- ・ 昭和 45 年 調停などを扱う中央公害審査委員会が発足
- 昭和 47 年 裁定制度を導入し、公害等調整委員会が「3 条機関」として発足
- ・ 初期は、産業型の公害紛争が多い状況／重大な健康被害などの主張（水俣病、渡良瀬川沿岸の鉍毒問題の調停も行う）
- ・ より良好な生活環境を求めて起こる紛争の増加／都市型、生活型の紛争

### (3) 公害紛争の変化（例として、騒音問題）

- ・ 名古屋新幹線騒音訴訟  
（昭和 49. 3 提訴、55. 9 一審・60. 4 二審判決、61. 4 和解）
- ・ 大阪国際空港騒音調停申請  
（昭和 48. 2～51. 2 申請 9 グループ 23 件、当初の申請者数 20, 138 人）  
（昭和 50. 10 - 11 騒音軽減対策、55. 6-7 空港使用禁止問題、）  
（ 53. 3／61. 12 慰藉料等請求 に関しそれぞれ調停成立）
- ・ 小田急線騒音責任裁定申請  
（平成 4. 5 申請 当初 325 人、10. 5 一部の申請人について調停成立、）  
（ 10. 7 他の申請人について裁定…申請を一部認容）
- ・ 最近の騒音問題（近隣騒音）…… 3 を参照

## 2 紛争解決の方法（特にADR機能について）

※ ADR……Alternative Dispute Resolution（裁判外紛争解決手続）

- 行政的な解決……相談、指導、（法的根拠あれば）規制・命令
- 立法的な解決……法律の制定・改正、法令に基づく基準の制定・改正
- 司法的な解決……訴訟

(1) ADR……民事上の紛争に関し、訴訟手続によらずに、公正な第三者が関与して、その解決を図る手続。第三者の専門的な知見を反映して紛争の実情に即した迅速な解決を図る手続として重要

公害問題に関しては、公害紛争処理制度が定められ、公害紛争処理機関として、国に公害等調整委員会、都道府県に公害審査会が設置されている。

(2) 公害紛争処理制度の特徴

- ・ 専門的知見の活用……委員や事務局職員。公調委では、事件ごとに専門委員を任命することもできる。
- ・ 機動的な資料収集・調査……必要に応じ、当事者に代わって自ら資料の収集、調査を行うことができる。

(3) 公害紛争処理制度における主な手続

① 調停

事件ごとに組織される調停委員会が、積極的に手続に関与し、当事者双方の互譲による合意に基づき紛争解決を図る。

手続きは原則として非公開（合意形成を容易にするため）

② 裁定 …… 公調委のみ

└原因裁定：被害と加害行為との因果関係について、法律的判断

└責任裁定：損害賠償責任の有無と賠償額について、法律的判断

事件ごとに組織される裁定委員会が、法律的判断を行うことにより、紛争解決を図る。

裁判と同様の手続。当事者が主張や証拠を提出する審問期日は公開。

### 3 最近の公害紛争の傾向・特徴

(騒音・低周波音の問題、廃棄物処理を巡る紛争)

#### (1) 最近の騒音問題 (近隣騒音)

事業系でも、町工場、スーパー・コンビニ／ビル建設工事、解体工事  
隣家のエアコン室外機

こういう施設も対象に…保育所・学校、公園・運動施設

(平成 19. 10 東京地裁で公園から出る騒音について差止めを命ずる仮処分  
決定 → 市は噴水を止め、スケボー広場でのスケボー禁止)

- ・ 騒音基準
- ・ 騒音レベル

#### ○ 低周波音の問題

#### (2) 廃棄物処理を巡る紛争

- ・ 産廃処分場
- ・ 廃棄物処理施設 (清掃工場、廃棄物処理施設)
- ・ 廃棄物、有害物質による被害  
(しばしば違法に) 投棄されたもの、事業活動によらないものも含む。

#### ○ 個別のケース

##### ① 豊島(てしま)産業廃棄物水質汚濁被害等調停申請事件

(平成 5. 11 香川県に申請 438 人、同月 参加申立 111 人、  
5. 12 公調委に送付)

(平成 9. 7 中間合意、12. 6 調停成立)

##### ② 茨城県神栖市のヒ素による健康被害等責任裁定申請事件

(平成 18. 7 申請 34 人、20. 11 参加申立 5 人、被申請人は国、茨城県)

(平成 24. 5. 11 裁定…申請を一部認容)」

## 第2部： 東幸一氏

### 1.自己紹介

氏名等：東幸一、昭和29年生、58歳。

住所：埼玉県鶴ヶ島市。

職業：東企画調査事務所代表。

営業品目：土木測量、設計・施工管理、環境コンサル等全般。

資格等：建設業監理技術者、一級土木施工管理技士、  
プレストレスコンクリート技士、甲種火薬類取扱保安責任者、  
測量士等。

ボランティア：介護相談。介護全般、成年後見人、相続、  
裁判等経験あり。

学歴：東京教育大学附属高校卒業。檀ふみ、

上智大学理工学部物理学科中退。

轟目良、アグネスチャン、南沙織、

東京大学農学部農業工学科卒業。小林春夫教授。



## 2.仕事は面白い

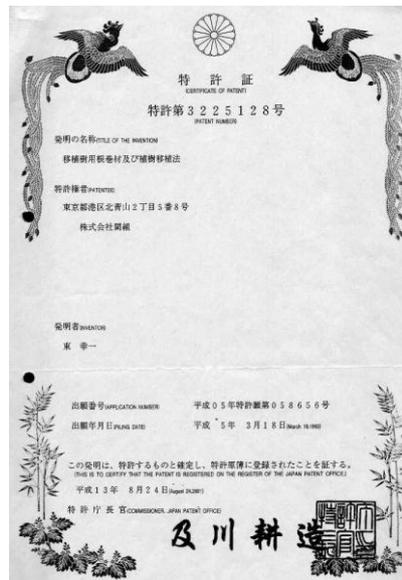
### (1)案ずるより産むが易し

- ①自分で仕事をこなせるようになるまでの**辛抱**。  
はじめに**コミュニケーション**ありき。**報連相**は金科玉条。
- ②人の上に立って仕事をして開ける**新境地**。  
部下も**人**、上司も**人**、外人も**人**。

### (2)組織、社会の中で給料を稼ぐばかりではもったいない。

ヒト、モノ、カネを修行し、獲得し、蓄積し、増殖させる。

- ①ヒト・・・部署の福利厚生活動や対外的な事務局活動など、積極的に引き受け、**人脈作りに労を惜しまない**。
- ②モノ・・・**資格、特許、論文、著作等**で実績を可視化、職場や序列の異動に備える。独立にも役立つ。



- ③カネ・・・何をするにも金。いくらかかったか把握。  
妥当な金額か、原価の実態的把握を心がける。
- ④儲けとは・・・組織や社会が評価する儲けとは何か。  
目先の儲けでなく、損して得取れという場合もある。

- 4.月並みだが、自己の能力・体力UPに努める。
- (1)感性に磨きをかける。
  - (2)自分でしっかりと考える。
  - (3)自分の思いを的確に人に伝える。
  - (4)語学力、コンピュータ力。
  - (5)メタボ克服。適度な運動と食事の自己管理。
  - (6)酒、煙草は使いようだが、程々にする。

